

第79回京都選手権 競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定によって実施する。(WRk対象競技会ではない)

2 競技場の入場と使用について

- (1) たけびしスタジアム京都(スタンド含む)への入場口(退場口)はメインスタンド南北入口、1500mスタート後方ゲート、200mスタート後方ゲートの4箇所とする。
- (2) 大会本部、競技役員控室およびその付近には大会関係役員以外の者の立ち入りを禁止する。
- (3) 更衣室の利用は、短時間とし、更衣室に荷物を置いたままにしないこと。
南側更衣室は女子、北側更衣室は男子とする。
- (4) スパイクピンの長さはトラック種目、走幅跳、三段跳、棒高跳は9mm、走高跳、やり投は12mm以内とする。
- (5) 練習は補助競技場を使用すること。但し、投てき練習は禁止する。投てき練習は競技開始前に競技場所にて競技役員の指示に従って行うこと。
- (6) セパレートレーンを使用する競走種目では競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (7) 競走競技においてフィニッシュした後は、第2・第3・第4コーナーをまわってスタート地点に戻るかメインスタンド裏通路を使用すること。本部席前およびメインスタンド内中央通路、ホームストレート内側、跳躍ピット付近は通行しないこと。
- (8) リレー競走で使用するマーカー(5cm×40cm以内の粘着テープ)は出場チームで準備すること。使用したマーカーはレース後に各チームが必ず取り除くこと。
- (9) メインスタンドの中段より下においては、テントは設置できない。部旗、幟、横断幕などは最上部の手すりにのみ設置できる。また、競技場外のベンチ使用を控えること。

3 招集について

- (1) 招集場所はメインスタンド1階雨天走路内とする。
- (2) 招集時間は下記のとおりとする。

トラック	一次招集	競技開始時刻	30分前開始	20分前に完了
リレーのオーダー提出締切	1組の一次招集完了の	60分前(予選・決勝とも)		

*オーダー用紙は、プログラムの巻末の所定の用紙を使用すること。また招集所にも準備する。

4×400mの予選のオーダーはできるかぎり13日に提出してください。

前日提出チームは当日の締切時刻まで変更可とします。

フィールド	一次招集	競技開始時刻	60分前開始	50分前に完了
棒高跳のみ	一次招集	競技開始時刻	80分前開始	70分前に完了

混成競技 *各日第1種目のみ 招集場にて一次招集を行う	トラック 一次 競技開始 30分前開始 20分前完了 フィールド 一次 競技開始 50分前開始 40分前完了
*最終種目（レーン・コースの発表）	15分前完了
第2種目以降はトラック10分前、フィールド20分前に現地にて招集を受ける。	

(3) 招集方法は次のとおり。

- ①一次招集 招集所にてスタートリストの自分の番号に○をつける。その際、トラック競技は「腰ナンバーカード」を受け取る。
- ②代理人による招集は認めない。2種目を同時に出場する競技者は、予めその旨を本人、または代理人が競技者係に2種目同時出場届（プログラム巻末）を提出し許可を受けること。
- ③欠場者は、競技者係に一次招集完了10分前までに欠場届を提出すること。代理人による提出も認める。欠場届はプログラム巻末にある。また招集所にも準備する。

4 用器具について

- (1) 「ポール」と「やり」は私物の使用を認める。但し「やり」は競技開始1時間30分前～1時間前にメインスタンド北側倉庫前で検査を受けること、その際、以前の検査シールをはがしておくこと。「ポール」は跳躍場で競技役員から競技開始前に検査を受けること。

5 競技用靴について

- (1) トラック競技で使用できる靴底の厚さは800m未満の種目は20mm、800m以上の種目は25mm、また競歩は40mmまでとし靴底の厚さは招集時に確認する。
- (2) フィールド種目において使用できる靴底の厚さは三段跳が25mmまで、それ以外の種目は20mmまでとする。

6 競技について

- (1) トラック競技の予選・決勝のレーンおよびフィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
- (2) トラックとフィールドにまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨申し出てトラック競技を優先して出場することを原則とする。
- (3) 決勝、準決勝の組み合わせおよびレーンは主催者が番組編成し、その結果を招集所に掲示発表する。
- (4) タイムによる次のラウンド進出者については、最後の1枠に同成績がいる場合、0.001秒の実時間を考慮し判定して出場者を定める。それでも決められないときは抽選する。
- (5) トラック競技に出場する競技者は、配布された「腰ナンバーカード」を右腰やや後方に貼り付けること。
- (6) リレーに出場するチームは、同一ユニフォームで参加しなければならない。（形状は統一する必要はないが、デザイン・配色は統一すること）
- (7) 競技運営上、男子少年B・女子3000m：12分30秒、男子5000m：17分30秒、男女5000m競歩と男子少年共通5000m競歩：33分、女子5000m：19分30秒、男子10000m：35分で競技を中止する。
- (8) 男子少年B・女子3000m、男女5000m、男女3000m障害、男女5000m競歩、男子少年共通5000m競歩、は別ビブスを使用する。別ビブス（シール式）は胸に貼りつけること。（競歩は胸、背につけ

る)

(9) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおり。(審判長の判断で変更する場合がある)

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7～	
走高跳 男	1m75/1m90	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cm ずつあげる
女	1m40/1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	3cm ずつあげる
種目	練習	1	2	3	4	5	6	7～	
棒高跳 男	3m60/4m20	3m80	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	10cm ずつあげる
女	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	10cm ずつあげる

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7～	
女子七種走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	3cm ずつあげる
男子十種走高跳	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	3cm ずつあげる
男子十種棒高跳	2m50/3m60	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	10cm ずつあげる

(11) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。

(12) 今回はフィールド競技においては、近隣の観客席に「コーチ席」を設ける。競技者への助言はコーチ席から近隣の関係者と距離をとって行うこと。なお、本部前での助言は慎むこと。

(13) 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子10mの地点に設置する。

(14) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。(フィールドプレーヤーは、競技区域外から撮影された録画映像を、録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば、競技区域内に持ち込むことが認められる。ただしコーチ席前に限る)

7 抗議について

抗議は2024年度日本陸上競技連盟競技規則により所定の手続きをとるものとする。(TR7)

8 表彰について

各種目3位までは表彰を行うので競技終了後速やかに正面ロビーに集合すること。表彰時の服装はTシャツ、ジャージを基本とする。但し、少年種目、女子3000m、の表彰は行わない。

9 記録の発表について

(1)記録は正面玄関前に掲示するとともに、WEB上にて発表する。プログラム及びスタンド各所に掲示したQRコードよりURLを取得できる。

10 撮影について

競技者へのカメラ・ビデオ撮影等は許可制とする。正面玄関前にてADカードを貸し出す。

競技場内外から撮影したすべての画像・映像は大会主催者や大会主催者が認めた第三者が確認させて頂く場合がある。

11 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し、個人情報を取り扱う。取得した個人情報は、大会運営に必要な情報として利用する。

また、大会の映像・写真・記事・記録等は、主催者と主催者が承認した第三者が大会運営や宣伝等の目的

で情報として媒体に掲載することがある。

1 2 近畿選手権の出場について

(1)本大会の6位（混成競技は4位）までの入賞者、チームは近畿選手権大会に出場することができる。

但し6人、6チームに満たない場合は順次出場を認めることがある。当日競技終了時までには申し込むこと。

(2)近畿選手権出場希望者は、本大会中に参加料を添えて申し込みを完了すること、

*近畿選手権辞退者は、記録発表後30分以内に、総務に辞退の意思表示をすること。